

# 中学1年 2学期中間 数学用語チェック！！

- ・同じ文字の積は、指数を使って書き、文字と数の積では、数を先に書く。
- ・文字式の表し方では、わり算は記号 $\div$ を使わないで分数の形で書き、かけ算の記号 $\times$ は省いて書く。
- ・式の中の文字に数をあてはめることを代入するという。また、文字に数を代入したとき、その数を文字の値といい、代入して求めた結果を式の値といいます。
- ・式 $\frac{x}{3}-5$ の項は、 $\frac{x}{3}$ と $-5$ で、 $x$ の係数は $\frac{1}{3}$ である。
- ・ $5x+4$ のように、1次の項と数の項の和で表される式を一次式という。
- ・ $xy+2$ 、 $-a$ 、 $2x-3y+1$ 、 $\frac{2}{5}x^2$ の中で、一次式は $-a$ 、 $2x-3y+1$ である。
- ・等号 $=$ を使って、2つの式が等しいことを表したものを等式という。
- ・等式で左辺と右辺の両方をあわせて両辺という。
- ・方程式の文字にあてはまる値を、その方程式の解という。また、方程式の解を求めることを方程式を解くという。
- ・等式では、一方の辺の項を、符号を変えて、他方の辺に移すことができる。これを移項するという。
- ・方程式の両辺に分母の公倍数をかけて、分数をふくまない方程式になおすことを、分母をはらうという。
- ・方程式のうち移項して整理すると、 $ax=b$ の形になる方程式を一次方程式という。
- ・ $x$ についての方程式 $x+3=a$ の解が8であるとき、 $a$ の値は11となる。
- ・ $8a<2b+3$ のように不等号を使って、2つの数量の大小関係を表した式を不等式という。
- ・ $a:b=c:d$ のように比が等しい式を比例式という。
- ・ $12:3$ の比の値は、 $\frac{12}{3}$ になり約分して4である。
- ・比例式の性質において、外側の項の積と内側の項の積は等しい。
- ・ともなって変わる変数 $x$ 、 $y$ があり、その間の関係が $y=ax$ ( $a$ は定数)で表されるとき、 $y$ は $x$ に比例するという。
- ・ $y$ は $x$ に比例していて、比例定数が2の $x$ と $y$ の関係を式に表すと、 $y=2x$ となる。

## 中学1年 2学期中間 数学用語問題！！

□□同じ文字の積は、( ) を使って書き、文字と数の積では、( ) を先に書く。

□□文字式の表し方では、わり算は記号 $\div$ を使わないで( ) の形で書き、  
かけ算の記号 $\times$ は( ) で書く。

□□式の中の文字に数をあてはめることを(ア ) するという。また、文字に数をアしたとき、その数を文字の値といい、アして求めた結果を式の( ) といいます。

□□式 $\frac{x}{3}-5$ の( ) は、 $\frac{x}{3}$ と $-5$ で、 $x$ の( ) は $\frac{1}{3}$ である。

□□ $5x+4$ のように、1次の項と数の項の和で表される式を( ) という。

□□ $xy+2$ 、 $-a$ 、 $2x-3y+1$ 、 $\frac{2}{5}-x^2$ の中で、一次式は( )、( ) である。

□□等号 $=$ を使って、2つの式が等しいことを表したものを( ) という。

□□等式で左辺と右辺の両方をあわせて( ) という。

□□方程式の文字にあてはまる値を、その方程式の(ア ) という。また、方程式の $a$ を求めることを方程式を( ) という。

□□等式では、一方の辺の項を、符号を変えて、他方の辺に移すことができる。これを( ) するという。

□□方程式の両辺に分母の公倍数をかけて、分数をふくまない方程式になおすことを、( ) という。

□□方程式のうち移項して整理すると、 $ax=b$ の形になる方程式を( ) という。

□□ $x$ についての方程式 $x+3=a$ の解が8であるとき、 $a$ の値は( ) となる。

□□ $8a<2b+3$ のように( ) を使って、2つの数量の大小関係を表した式を( ) という。

□□ $a:b=c:d$ のように比が等しい式を( ) という。

□□ $12:3$ の比の値は、( ) になり約分して( ) である。

□□比例式の性質において、外側の項の(ア ) と内側の項の $a$ は等しい。

□□ともなって変わる変数 $x$ 、 $y$ があり、その間の関係が $y=ax$ ( $a$ は定数)で表されるとき、 $y$ は $x$ に( ) という。

□□ $y$ は $x$ に比例していて、比例定数が2の $x$ と $y$ の関係を式に表すと、( ) となる。